

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第56号

横浜市旭区鶴ヶ峰 2-1-16

☎ 045-453-8386

2019年10月 15日 発行

【巻頭言】

共に歩む市民の会理事 村木 雄一

皆様 こんにちは

新しく理事になりました村木です。葦の会から派遣される形の理事です。

今年の3月末で横浜市を定年退職し、葦の会の理事になり、共に歩む市民の会の理事にもなりました。微力ながらも、お世話になった共に歩む市民の会に恩返しができればと思っています。

私自身の自己紹介をさせていただきます。1981年に横浜市に採用され、最初の職場が旭区の保護課であったことが、その後のワーカーとしての仕事の方向性を決めていきます。当時旭区の保護課の先輩ワーカーは業務として生活保護を受けている精神科病院の長期入院患者さんの実態調査をしていました。内容は退院の意向や可能性を聞くことと、病院生活の状況を聞くことを中心としていました。当時は社会的入院という形で、病気の方を受け入れる社会ではなかったため、病状的に寛解しているにも関わらず、退院できず、病院を住み家にせざるを得なかった人が多くいました。また、精神科入院病棟の療養環境が劣悪であったことに着目し、その状況を生活保護担当者の側から変えようとしていました。調査は同時に退院ができる環境を整えることでもありました。今の生活保護ワーカーは、当時に比べて忙しく、ソーシャルワークや地域とのつながりを作っていく仕事ができる余裕がないように思います。当時は自分たちが、入院患者さんの生活の場を作っていく、作っているという実感がありました。そんな仕事の経験ができたことが、今の自分を作っています。そうした中で、区内の病院のPSWや施設、市内の精神保健関連施設の方々との交流も深まり、その流れで、葦の会や共に歩む市民の会にかかわりを持ち、今に至っています。

自分は横浜の精神保健の施策の流れができてきた第一世代の仲間に入っていると思っています。そして、周りを見渡すと、そろそろ第一世代が引退し、次の世代にバトンがタッチされはじめているのかなという印象なのです。そんな中、遅ればせながら理事職を与えられたことに、自分の役割を考えざるを得ません。また、頭を悩ますことになっている事に、運営面では、これまでは、横浜市の補助金を前提とした運営だったのが、国の制度である総合支援法も混ざってくる状況の中で、運営という面からも相手が国になったこと、そして、経営感覚がとても必要になり、利益の生み出し方やそれによってコストも意識しなければならないことです。この点、ちょっと荷が重いなと感じています。

これでは、いやな気分になりますが、思えば、自分はその時のあたりまえという考えと逆の発想をしてきたことに価値をもち一定の成果も得てきたのですから、頭を悩ますあたりまえの福祉状況に乗るのではなく、その逆にいくことが、成功の道なのかなと思うとちょっと楽になりますし、ますます悩んでしまいます。

以上、つらつらと書いてしまいました。



【よろしくお願いします】

共に歩む市民の会事務職員 勝澤愉紀子

8月より「共に歩む市民の会」事務局の非常勤スタッフになりました勝澤愉紀子です。

私が愛知県から横浜市に来て最初に住んだ所は、心に病を持つ方たちが利用される「むくどりの家」のそばでした。子供達とクリスマス会に参加させていただいたり、居合わせた田舎の母とお花見に参加させていただいたり、とても居心地が良く楽しい時間を過ごさせていただきました。職員さんや関係者の方々の温かな対応が心に残り、自分にも何かお手伝いができないだろうかと思ったことを覚えています。



あれから30年近くが過ぎましたが、心に病を持つ方たちの支援をされている「共に歩む市民の会」の活動に関わらせていただくことになりました。NPO法人での事務経験を活かし、裏方として法人運営のお役に立てることができれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

【ほっとぼっとの移転先物件を探しています】

皆様ご存じの通り、現在ほっとぼっとでは新しい建屋への移転を検討しております。条件としては鶴ヶ峰・二俣川エリアで駅から徒歩圏内であること。建坪は80～100坪程度。そこに必要なのは事務室、相談室、調理室、食堂・娯楽室、浴室・脱衣室、洗濯室、静養室、トイレ、集会室、カンファレンスルーム、受付、交流室、面談室、談話室、(ぴあスタッフ専用室)、(家族専用室)、職員室および職員休憩室、職員ロッカー、倉庫などがあることが望ましいのですが、ビルの一室の場合でしたら、十分な広さがあれば改装して使用します。

また、上記条件を満たす建屋を新築したうえで賃貸して下さるという家主さんがいらっしゃいましたら合わせてご支援・ご協力をお願いします。

以上、皆様のご協力をお願いします。

【夏の終わりの花火大会】

随分、時間が経ってしまいましたが、夏の終わりの日、つまり8月31日にほっとぼっとの前にある公園で花火大会を行いました。参加者は30名強、平均年齢はXX才？ですが、皆さん大きな子供に還ったひと時でした。

公園の木が大きく生い茂っているために打ち上げ花火はできず、手持ち花火だけでしたが、それが余計に童心を誘ったのかもしれませんね。

夏の終わりに日程を移したおかげで開始直後に日没、暗い中できれいな花火を楽しむことができました。(これは少し説明が必要かもしれませんが、例年ですと7月中の開催、まだまだ日が長く、明るいうちからの花火大会となっていました)

また、7月からのほっとぼっとの開所時間の変更により開所時間中のイベントとなったため、従来よりも気軽に参加する方たちが多かったような気もしました。

来年の話をするとうきに笑われそうですが、今年参加できなかった皆さん、どうぞ来年こそは一緒に花火を持ち楽しいひと時を共有しませんか？



【ほっとぽっと標準化から3か月が過ぎて】

7月1日より始まった生活支援センターの標準化によりほっとぽっとも大きく変わりました。そこで利用者の皆さんの声を拾ってみました。

■ 開所時間の変更について

他の作業所に登録していても、その後の時間で来ることができるようになった。

もう少しわがままをいうならば休みなく開所してほしい

■ ランチのシステム変更について

メニューが既に決まっているので負担が少ない

今までではメニューに偏りがあったけれど栄養バランスがよりとれるような気がする

費用が固定するのも助かる

ランチがない日が増えたがその日は人が少ないのでとても穏やかに過ごせる

■ その他

人の気配が感じられる場所があるだけでいい

時間帯によって利用者の住み分けができている気がする

当初は週一の休みもなければいいのと思ったが実はその日は違うセンターを知るいい機会かも

ここに挙げた声はほんの一部に過ぎませんが、概ねすんなりと受け入れてくれているように思えました。後は受け入れ側がどれだけ力を尽くせるか、試されている時期なのかもしれません。職員一同、試行錯誤を繰り返しつつ前進していきます。

【新地活センタープロジェクト始動しました】

かねてより予定していた地活センターですが、局への申請書類も無事に提出し、いよいよ地活センター新設プロジェクトが始動しました。

利用者の皆さんの本当に望む場所はどんなところだろう、どんな地活センターを望んでいるのだろうと、まずは利用者の皆さんへのヒアリングから始まりました。

合わせて物件探しにも着手いたしましたが、ほっとぽっとの移転との兼ね合いもあり、慎重に考えていきたいと思っています。

何もしなくてもいい場所がほしい、そんな居場所づくりを目指していますが、作業所としてほっとぽっととの差別化をいかに出していくのかなど、まだ問題は山積みです。これからは皆様のお力がより必要になると思います。よろしくご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

【地域の防災訓練に参加しました】



9月22日(日)前日までの台風予報はどこへ行ったのかと思われるほどの晴天の下、地域の防災訓練に参加してきました。この訓練はほっとぽっとのある鶴ヶ峰地区での20地区からなる鶴ヶ峰連合自治会、町内会主催の物で毎年9月に行われています。今年の参加者は420人でした。ほっとぽっとは最近の激甚災害を踏まえ、毎年参加しています。

今後この訓練が結果的に必要なかったねと毎年言えることを願いつつご報告しました。

第71回理事会報告

日 時:7月25日(木)18:30~21:00

場 所:ほっとぽっと別館

出席者:理事:9名

<審議事項>

- ① 担当理事について
- ② 施設移転に関する方針・計画について
- ③ 地域活動センター構想について
- ④ 法人活動の年間計画(広報・研修・会員の集いなど)について



2019年10月~2020年1月 市民の会・ほっとぽっと スケジュール

★『第72回理事会』の開催

日時 10月24日(木) 18時30分~

場所 ほっとぽっと別館 サロン

★『持ち寄り朗読会』 読みたいものを持ち寄ろう! <朗読時間:おひとり10分×8人まで>

日時 11月1日(金) 14:00~ 場所:ほっとぽっと別館・サロン

参加費(飲み物・お菓子付き)100円 聞きたい人もどうぞ。

問い合わせ: 045-453-8386(市民の会事務局) 水・木(10:00~16:00)

★ 別館清掃をします!

11月16日(土) 10:00~11:30

半年に一度ほっと夫別館を利用されている団体に協力いただき清掃を行っています。

ほっとぽっと利用者、市民の会会員や関係者の皆様からも協力してくださる方を募集します。

よろしくお願いいたします。

★ 3施設合同防災訓練(日程シークレット)今年もやります!

今年も秋に連接施設サンハイム、マインド葦との合同防災訓練を実施します。

日にちは事前にお知らせせず実施します。突然になりますが、落ち着いて行動してくれることと期待しています。多くの方に参加していただきたいと思っています。

共に歩む市民の会会員を募集しています

私たちの活動に賛同して下さる方、どうぞ会員となって支えてください。

一人でも多くのサポーターが必要です。私たちと共に歩んでくださる方々を募集しています。

編集後記

今年の夏は暑く、秋は台風に泣かされ日本の四季はどうなってしまったのでしょうか。そんな中、市民の会はほっとぽっとの移転に向け、そして新規地活センターの開設に向け熱く燃えています。(國井)

今回初めて、会報作成に関わらせて頂きました。結構、手間のかかる作業であることが分かりました。毎回作成に関わって頂いている方には敬意を表したいと思います。(浅田)